

平成18年度北海道支所一般公開報告

7月1日(土曜日)、気温 25℃、湿度 40%台の北海道らしい好天に恵まれ北海道農業研究センターとの共催で一般公開が実施されました。今年のテーマを「羊ヶ丘開基 100 年—新たな農業研究への挑戦—」と銘打ったことが功を奏し、近隣から多数おいでいただき来場者は 2,744 名に達しました。当支所の展示テントを昨年と同じ北農研の正面玄関脇というベストポジションに割り当てていただいたこともあり、見学者は約 500 名にのぼりました。

広報委員が中心となって準備を進め、新たに作製した研究活動紹介パネルの展示、パンフレット(支所の役割、新組織、研究活動等を紹介)の配布、動物衛生研究所紹介ビデオの上映、動衛研ホームページの紹介等により、動物衛生研究所及び北海道支所の役割・業務と各分野の研究内容について説明を行いました。また、昨年人気の高かった聴診器でウサギの心音を聞いたり、ウサギを抱いてプリントシール撮影ができる「ウサギとふれあい知る広場」、怖いもの見たさの生きた吸血ダニの展示は今年も盛況でした。パネル説明もかなりの反響があったように感じられました。今年実施したアンケートの結果の一部を紹介します。回答者 34 名のうち約 6 割が北海道支所の存在を承知しておられました。身が引き締まる思いです。

最後に、限られた人と時間ではありましたが、動物衛生研究所及び北海道支所が担っている様々な業務・研究活動の一端を知ってもらえた有意義な一般公開であったと思います。今後も引き続き開かれた職場を目指し、動物衛生研究所及び北海道支所の業務・研究紹介に関心をもっていたくために見学したい方には事前申込願いたい旨のメッセージも発信しております。そして関係者各位のご理解とご協力の下、より良い成果を得られるよう、支所一丸となって取り組んでいきたいと考えております。

(北海道支所一般公開実行委員会)

